

## 令和2年度 第1回防府市観光振興推進協議会議事録等

### □開催日時

令和2年8月7日(金) 午前10時45分から午後0時15分

### □場所

防府市役所1号館3階 南北会議室

### □次第・議事

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事
  - (1) 「第3次防府市観光振興基本計画」の策定について
  - (2) その他
- 4 閉会

### □配布資料

- 資料 1 「第3次防府市観光振興基本計画」の策定の考え方について
- 資料 2 防府市の観光に係る現状・課題について
- 資料 3 「第3次防府市観光振興基本計画」の構成・内容について
- 資料 4 今後のスケジュールについて
- 参考資料1 統計から見る防府市の観光の現状
- 参考資料2 うめてらすの利用者のアンケート調査結果から見る防府市の観光の現状
- 参考資料3 ヒアリングによる防府市の観光の現状
- 参考資料4 高校生ワーキングについて

### □傍聴人

1人

## 出席者名簿

敬称略・順不同

	区分	委員名	所 属	出欠
委 員	学識経験	(副会長) 加藤 真也	山口大学経済学部 准教授	出席
	観光関係団体	(会 長) 羽嶋 秀一	防府商工会議所 副会頭	出席
		中司 達美	(一社)防府観光コンベンション協会 副会長	出席
		宇野 好一	防府観光物産協会 会長	出席
		種田 正幸	天神町銀座商店街振興組合 理事長	出席
		吉谷由紀恵	(一社)山口県観光連盟 誘客プロモーション部 部長	出席
	市民(一般公募)	田中 元昭	—	出席
	市民活動団体	山野 悦子	特定非営利活動法人 市民活動さぼーとねっと	出席
	観光関連・民間関連事業者(旅行業者)	多田 望	(株)JTB山口支店 支店長	出席
	観光関連・民間関連事業者(産業観光関係者)	黒瀬 智彦	マツダ(株)防府工場 総務部長	出席
「第3次防府市観光振興基本計画策定支援業務」受託業者	八木 周吾	ランドブレイン(株)山口事務所 所長		
	岡部 将己	〃 地域経営グループ 主任		
	山内佳奈子	〃 地域経営グループ		
事 務 局	島田 文也	地域交流部 部長		
	寺畑 俊孝	地域交流部 部次長		
	亀井 幸一	地域交流部 おもてなし観光課 課長		
	福谷 英樹	〃 課長補佐		
	轟岡 俊樹	〃 観光振興係 係長		
	渡邊ももえ	〃 観光振興係 主事		

## 【 議 事 録 】

### 1 開 会

---

(事務局より開会の宣言)

地域交流部長あいさつ

---

地域交流 本日は大変お暑い中、また御多忙中のところ御参集いただき、御礼申し上げる。また、平素から本市の観光振興に多大なるお力添えを賜り、御礼申し上げます。

本年度は、令和3年度から5年間の本市の観光振興の指針となる「第3次防府市観光振興基本計画」を策定する重要な年度である。計画策定にあたっては、同じく今年度策定する、市の最上位計画である次期防府市総合計画との整合性を図りつつ、今後5年間、観光政策として何を行うのか明確にし、どの世代が見ても分かりやすい計画にしたいと考えている。

本日の協議会では、「第3次防府市観光振興基本計画」策定に向けた方向性の考え方や、今後のスケジュール等をお示しした上で、委員の皆様の貴重な御意見等を頂戴したいので、忌憚のない御意見をお願いしたい。

### 2 出席委員等の紹介

---

事務局 (出席委員等の紹介)

各委員を紹介し、委員10名全員出席を確認。また、議事における資料説明のため、「第3次防府市観光振興基本計画」の策定支援業務を受託したランドブレイン(株)山口事務所のスタッフが本日の協議会に出席している旨を紹介。

(委員交代の報告)

山口大学の加藤委員は、今春定年退職された同大学の河村委員(本協議会会長)の後任として、また、種田委員は、一身上の都合で委員を辞退された、防府市商店街連合会推薦の吉末委員に代わって、天神町銀座商店街振興組合の推薦により、それぞれこの度協議会委員に就任された旨を報告。

(会長の選任)

本協議会会長の河村委員が協議会委員でなくなり、会長不在となったことから、「防府市観光振興推進協議会設置要綱」第5条第1項の規定により会長を選任した結果、羽嶋副会長が新たに会長となることが承認され、また羽嶋会長就任に伴い、新副会長には羽嶋会長の指名により、加藤委員が副会長に就任。

(会議の公開について)

異議なし

### 3 議 事

---

会長 先ほど地域交流部長の挨拶にもあったように、今年度は、今後5年間の本市の観光振興に関する基本計画を策定する重要な年である。委員の皆様には、是非、熱心で闊達な御意見の交換を賜りたい。

では、議事の(1)「第3次防府市観光振興基本計画」の策定について、事務局から説明をお願いします。

事務局 ここからの資料の説明は、先ほど紹介した、ランドブレイン株式会社山口事務所のスタッフをお願いします。

ランドブレイン(株) (参考資料1「統計から見る防府市の観光の状況について」、参考資料2「まちの駅うめてらす利用者アンケート調査結果から見る防府市の観光の現状」、参考資料3「ヒアリングによる防府市の観光の現状」、参考資料4「高校生ワーキングについて」、及び資料2「防府市の観光に係る現状・課題について」の順に説明)

会長 ここまでの説明について、質問や意見を受けたいので、意見等があればお願いします。

委員A 資料2では、SWOT分析の結果導き出される方向性が4つ示されているが、特にこの中で優先的に行うべきというものはあるか？

ランドブレイン(株) 防府市は食や自然といった資源が豊かで、また歴史もすごく豊富で、ストーリー性にあふれた資源もあるところが強みであることが明らかとなっているが、一方で、それが対外的にしっかり伝わっておらず、情報発信が単体に留まっている。例えば防府天満宮には観光客は来ているが、それ以外のところにはなかなか足を運んでいただけていない。そのため、観光客に周遊してもらうため、いかに具体的な楽しみ方や、防府市での過ごし方を提案できるか、イメージしてもらえるかというところの効果的な情報発信が、4つの方向性の中ではまず一番大事になってくるのではないかと考えている。

事務局 まずは効果的な情報発信が必要だと思う。防府天満宮には観光客が大体年間91万人来られるが、同じ歴史的観光資源である阿弥陀寺は年間4万9千人、周防国分寺になると3万3千人、有名な毛利博物館・毛利家本邸でも5万7千人と、防府天満宮とはけた外れに入り込み客数が違っている。そのため、まずは天満宮以外のこの3資源について、何とか防府天満宮の数字に近づけていくための効果的な情報発信を行い、併せて、それぞれの資源の磨きもかけていきたいと思っている。

コロナ禍の現在、各資源とも相当入り込み客数が落ちており、大体6月までで昨年比70%の入り込み客数となっている。今後この状況が続くとなると相当厳しいので、まずはコロナ禍の前の状態に戻していくために効果的な情報発信を優先しつつ、各資源を磨き上げていくように計画を作っていくと考えている。

委員A 強みをどうやって伸ばしていくか、それにはやはりしっかりとブラッシュアップをしていくというのが、一つの方向性なのかなと思ったところである。リソースをどこに使っていくか、うまく優先付けをしていくことが大事なのかなと思った次第である。

委員B 正直言って、いま説明された分析から方向性まで、2016年策定の第2次防府市観光振興基本計画に書かれているのとほぼ一緒のような気がしているので、違いを教えてください。

事務局 前の計画の一番肝になったのが「観光まちづくり」ということで、観光はどんどん進めていけば何になるのか、観光の究極の目的は何だろうかということ、一番初めに提唱したのが「観光まちづくり」であり、観光を推進することによって「訪れてよし、住んでよし」というまちをつくっていきましょうという大きな目標を作り、それにスパイラルしていった。この流れは次の計画でも同じである。

ただ、現計画の失敗と反省点は、観光まちづくりの中を区分していない、即ちどのセクションがどの部分をやっていくのか、各主体の役割分担が明確でなく、おもてなし観光課がすべてやる形になってしまったことであり、これから策定する第3次計画は第2次計画を踏襲しつつ、各主体の役割を明確にしながらか、まちづくりのスパイラルが回っていくよう考えたい。

委員B 現計画では、この協議会は、PDCAを回すために、計画に書かれている各施策がうまくいった、うまくいかなかった等の評価をして検証するという進捗管理をする位置づけになっているようだが、次期計画についてもその位置づけは変わらないか。

事務局 基本的なやり方は、現在の第2次計画と同じで、この協議会を毎年開催して、計画の進捗状況の報告と、報告を踏まえた上で、計画の見直しや改変を柔軟にやっていただくことを考えている。

委員C 参考資料1の5ページのグラフで、天満宮と比較して他の観光施設の訪問者が非常に少ないことに驚かされたが、例えば毛利邸はあれだけの敷地面積があることが知られていないというのは残念である。天満宮と毛利邸では情報の発信量が違うのかなと思うので、是非私たちが住むまちにある大事な観光資源をうまく情報発信していただくようお願いしたい。

それから潮彩市場は、県内からの来訪者に関しては天満宮より多いという

ことだが、営業時間が午後6時までという中での結果であることを考えると驚きであり、もっと来訪者を増やすことはできるのではないかと思う。また、今後市場のそばに公園もできることから、子育て中の親子連れを中心に、もっと潮彩市場の良さを知ってもらえるチャンスでもあると思う。

また、現在コロナ禍で県境を跨ぐ学校行事がすごく難しいと言われている中、身近な修学旅行ということで、是非防府の観光地に来ていただき、観光資源を知ってもらえるような布石を打つことも必要だと思う。

事務局 毛利邸については御指摘のとおり、あまり知られていないということがある。来年は毛利元就没後450年の節目にあたり、今年は雪舟生誕600年ということで、国宝の「四季山水図」をはじめ、しっかり発信していきたいと考えている。

修学旅行の営業については、過去営業自体をあまりやってこなかったもので、次期計画の中に盛り込んで、しっかりやっていきたいと考えている。その他の御指摘事項も、計画を作る中でしっかり咀嚼してまいりたい。

会長 それでは、残りの資料の説明をお願いしたい。

ランドブ  
レイン(株) (資料1「第3次防府市観光振興基本計画策定に向けた方向性の考え方」及び資料3「第3次防府市観光振興基本計画の構成・内容について(案)」を説明)

会長 ここが肝の部分かなと思う。皆さんからの御意見、御質問をいただきたい。

委員D 現在の第2次計画はいろいろな計画を盛り込んだが、この5年間に何をやったのかあまりピンとこない。例えば計画の中に、クルージングを呼ぶというのがあったが結局1回来ただけだった。あまり計画を優先して考えると、計画だらけになって何をやったか分からないということになるので、次期計画の5年間については、具体的なものを最初の一年のうちにやって人を呼び込む土台をまず作る方がより進んでいくのではないか。例えば、天満宮から国分寺、そして毛利邸の間は歩行者天国にして、秋に紅葉まつり、春に桜まつりというのを決めてやると、一つの大イベントとして定着していくのではないかと思うし、潮彩市場については、例えばアジの干物とかを作って通販をするという取り組みをやってみるとよいのではないかと思う。また、防府音楽祭についても、情報発信をうまくやって、例えば音楽祭の期間中、ストリートピアノとかストリートドラムとか誰もが楽しめるようなことをして売り込むとか、そのように、まずできることを決めて、そしてやる体制をきちんと確保した上で確実にやってみることが大事だと思う。

委員E 山口県内の宿泊のお客様の販売人員と販売額の同期比は10%以上違っており、販売額の方が高く、長門湯本に至っては40ポイント以上販売額の方が高い。これはどういうことかということ、県のプレミアム宿泊券の発行や、

国の「Go To トラベルキャンペーン」に伴う宿泊割引により、いい宿に泊まりたいという消費者の思いもあるのだろうが、もう一つ、このようなコロナ禍においては、少々高かろうが、安心・安全なところ、しっかりしたところに泊まりたいと、そういう心理が働いていることもその背景にあると思われる。人間、一回質を上げるとなかなか質を下げることはできないもので、それを考えると今はチャンスであり、今のうちに防府においても質が高く、しっかりしたものをきっちりと整備しておけば、コロナ収束後もたくさんお金を落としてもらえることにつながると思われる。先ほどの資料の説明の中に、消費単価の向上とか、高品質・こだわり・特別感の追求といった言葉があったが、今のうちからそうした取り組みを進めていく方がよいのではないかと感じた。

委員F 天満宮への来訪者が多いということなので、その人たちを市内の他の観光施設へ移動させるための仕組みづくりや整備が必要なのかなと思う。

委員G 防府市として取り入れるべき県内他市や県外の自治体での成功事例や、防府市と他の地域との比較について何かあればお聞かせいただきたい。

ランドブ  
レイン(株) 県内でいえば、長門市が挙げられる。長門市では、地域商社の方々が育成されてきており、地域のもを実際の商品としてブラッシュアップして、それを売り込んでいくということをやられる中で観光客が伸びてきている。防府としても市内にある観光資源をブラッシュアップして、滞在時間とか落としていただくお金を上げていくというやり方が、最初の目指していくところかなと思う。

委員G 既存の魅力ある資源をさらにブラッシュアップすることの大事さは分かったが、一方で、例えば湯田温泉に来た人に防府市を訪れてもらうためには、山口市との連携が必要になってくると思うが、そうした他市との連携の可能性についてはどうか。

事務局 防府市だけの資源で勝負できるというわけではなく、連携は大事であると考えている。現在、大きな枠組みでの連携として、防府市のほか、山口市、宇部市、山陽小野田市、美祢市、萩市、島根県津和野町の7市町による広域連携の仕組みができていて、その中で観光を考えていこうということで、定期的集まって会議をしている。また、個別には、おもてなし観光課と防府市観光コンベンション協会が、湯田温泉組合に出向いて、防府に来た方が湯田温泉に泊まりやすいように、パンフレットに防府市を入れていただくようお願いするといった話をしている。そうした連携については、計画の中にも盛り込んで、もっと強固に進めていきたいと考えている。

委員G 連携するのであれば、例えば防府市は歴史があるので、同じく歴史があるところと連携するなど、何らかの軸をもって連携すべきだと思う。

委員H 最近防府市は新しいポスターを作られたり、WEBをきれいにされたり、頑張って情報発信されているなど感じているが、やはり防府天満宮にたくさん来られている方をいかに第二の場所に連れていくか、あるいは滞在時間を伸ばしていくかが肝になってくると思う。滞在時間を伸ばすことについては、食事や体験といった新たなコンテンツを開発すれば、ただ見るだけの観光よりも満足感が高くなり、次また来ようという気持ちにもなると思うので、そういったコンテンツが少しずつでも増えてくるとまた違ってくるのではないかと思う。

特に来年は、新山口駅近くにコンベンション施設が新しくできることになっているので、そのコンベンション施設に来られた方に、いかに防府市に来て楽しんでいただけるか、というところも視点に入れて、何かコンテンツを考えていくとよいのではと思った。

委員I 新しいものをつくるのはなかなか難しい中、菓子組合では、従来のインターネットによる売り込みとは別に、組合員である洋菓子、和菓子各店舗が商品を写真に撮ったものをカタログにして、誕生日等の指定された日に宅配業者が届けるという、宅配業者と組んだ宅配付きカタログという新たな取り組みを計画している。

委員D 資料3の「計画策定の趣旨」の中に、観光振興基本計画の計画期間が令和3年度から7年度と書いてあるが、計画期間ではなく、「実行期間」とか「推進期間」とかの表現にした方がよいのではないか。

事務局 現計画では、施策体系が総合計画並みにびっしりと書いてあり、あまりに施策が多すぎて何ができて何ができていないのか分からないというような指摘が先ほどもあったが、今年度策定する次期計画では、いま委員が言われたように、「計画期間」ではなく、「実行期間」「実施期間」という表現にして、この5年間でこれをする、これを土台にやるという意気込みを示し、内容も分かりやすいものにしていきたい。

委員B 資料を見て感じたのが、観光客と観光の定義というのが不明で、例えば宿泊客がビジネス客でも観光客でも同じような分母になっている気がしたほか、潮彩市場については、日常的に買い物で行っている人も来場者数にカウントされているということであれば、毎日セールを行えばもっと数字が上がるのではないかと思った。そのため、数字を追うといっても、もう少し整理が必要ではないかと思う。また、どういう施策でいくにしても、防府には天満宮と1300年の歴史だったり、薩長同盟がここから船出して維新を起こしたとか、いろいろな切り口でストーリー化できるネタがいっぱいあるのに、全くストーリー化できておらず、お金をかけるより、まずはストーリーをうまく作ることが先かなと思った。

会長 本日、いろいろな御意見をいただいたが、それをしっかりと盛り込んだ形

で基本計画を作っていただきたい。特に私は、「具体的に」ということが非常に重要であると思っており、今までにないような、具体的に、防府ならではの計画となるようお願いしたい。

また、委員の意見にあったが、最低1年に1回はこの協議会で進捗状況を確認するという事も入れ込む形でお願いしたい。

それでは、これから第3次防府市観光振興基本計画を策定するにあたって、その方向性や計画の構成・内容について、只今いただいた御意見を含めた形で今後策定作業を進めていくこととしたいが、御異議はないか（異議なしという声あり）。

それでは本日頂いた御意見を入れ込んだ形で、今後計画の策定を進めていただきたい。

続いて、次の議事の「その他」について、事務局から連絡事項があればお願いしたい。

事務局 （資料4「第3次防府市観光振興基本計画策定に関するスケジュール」を説明）

会長 それでは、以上をもって「令和2年度 第1回防府市観光振興推進協議会」を終了する。委員の皆様には、熱心な議論とスムーズな議事進行に御協力いただき、御礼申し上げます。

#### 4 閉会